

原発関連収入4200万円増

高浜町 高浜3、4号再稼働で

高浜町は2日、2018年度当初予算案を発表した。一般会計は17年度当初比5.2%増の102億1968万円、特別会計は同比5.8%増で37億6868万円、企業会計は5億3059万円

で同比21%増。予算総額は145億1895万円、前年度比2.6%増となった。原発関連収入は関西電力高浜原発3、4号機の再稼働などにより、

同比4248万円増(同比0.8%増)の54億627万円。原発関連収入の歳入全体に占める割合は、17年度当初の

	予算額	前年度比
一般会計	102億1,968万円	5.2%
特別会計	37億6,868万円	▲5.8%
企業会計	5億3,059万円	21.0%
合計	145億1,895万円	2.6%

町道柿ヶ渡線新設事業	5億6,876万円
薬草産地化推進事業	2,653万円
町道小泊線改良事業	1,003万円
社会福祉センター改修工事	2億9,916万円
子ども医療費	2,883万円
青葉山健康長寿の里事業	3,161万円
ブルーフラッグ推進事業	4,396万円

同3、4号機が再稼働したことから、原子力発電施設等立

地域基盤整備支援事業補助金の5億円が入ることになった。また県の核燃料税交付金も再稼働などを考慮し、同比3千万円増(同比4.5%増)の7億円を見込んだ。一方、土地家屋、償却資産の固定資産税は同比3億5400万円減で、電源立地地域対策交付金も同比1億3276万円減

となった。歳出では町総合計画に基づき、後期実施計画で策定した事業を優先的に進める。主な事業では原子力災害時の避難対策として、内浦地区の避難道路を複線化するため、新たに町道を整備する工事費などに5億6876万円を計上。また新規事業として、同町音海の町道拡幅へ向けた調査費などに1003万円を充てた。

17年度に続き、18歳まで医療費を無料とする子ども医療費に2883万円を盛った。6日開会の定例町会に提案する。(小柳慶祥)